

(仮称)川西市社会資源管理システム 導入について

システム導入の目的

本システムを用いて社会資源を一元的に把握し、地域包括ケアシステムを具現化することにより川西市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画を着実に推進する。

コロナ禍における生活様式の変化により、フレイル状態に陥る高齢者が増加する恐れのある中、本システムを活用し必要な社会資源の情報を簡単かつタイムリーに取得することで社会参加の促進を図り、フレイル予防・介護予防につなげるとともに、多様な資源の活用結び付ける。

- ケアマネジャー、地域包括支援センター、介護サービス事業者、地域関係団体等の情報格差の解消や連携強化を図ることで、業務改善や業務効率の向上につなげる。

システム導入で可能となること

市民が簡単に情報を得られることで、利用したい社会資源の選択ができる。

- ケアマネジャー等の支援者が、市内の医療機関や介護サービス事業所だけではなく、サロンなどの「通いの場」や、インフォーマルサービスを一元的に検索できることで、高齢者やその家族などへの適切な情報提供と支援につながる。

公開サイトと関係者用サイトの2層構造で構築することで、関係者用サイトにおいて、非公開情報や利用記録の蓄積、関係者間の連絡ツール等として活用できる。

本システムを活用し、生活支援コーディネーターが中心となり社会資源の把握・分析を容易にすることで、生活支援体制整備の推進につながる。